



入庁後、葛城保健所感染症係に配属されました。感染症係では、DOTSという服薬確認のために結核患者の訪問に行ったり、感染症が発生している高齢者施設・保育園に出向き感染拡大防止に努めたりといった業務に従事しておりました。そして、葛城・桜井保健所との合併とともに、中和保健所難病対策係に配属となりました。難病患者は、様々な病状で、自宅で生活をされている方がいらっしゃいます。専門病院の主治医・地域の主治医・訪問看護師・ケアマネジャー等といった各関係機関と連携し、患者を支援するチームの一員として、「どうすれば本人・家族の望む生活ができるのか」を共に考え、支援しています。また、地域として、より良い支援が行えるように、支援者の研修会を企画・開催を行っています。「前向きに生きること」「家族を思う気持ち」等を関わっている患者・家族から、学ばせていただくことも多くあります。私自身、出産・育児休暇を取得させてもらい、現在育児時間を利用しながら、職場復帰をしています。子育てとの両立ができるか不安でしたが、周囲の先輩方に助けをもらい、やりがいを感じながら働くことができています。

中和保健所 感染症係
尾崎 美波(2014年入庁)

◆郷土で働く！！◆

私は奈良県出身ですが、県外で保健師として働いていました。地域を変える保健師活動の重要性を理解できたからこそ、生まれ育った地域で働きたいと思い、奈良県で働くことを決めました。現在は経験豊富な先輩職員の方々に支えていただきながら、じっくり地域支援に取り組むことができ、奈良県で働くことのやりがいを感じています。

今回入庁して初めての異動で、県庁から吉野保健所勤務になりました。県庁では、難病対策を担当し、保健師の視点で、健康課題解決に向けて必要な取り組みをどのように施策化につなげるか学ぶことが出来ました。

保健所では、患者や家族に寄り添い、1ケース1ケースの支援を丁寧に行うことを心掛けています。患者支援を通して地域を知り、また地域の関係機関とも関係を構築する中で、地域の課題が見えてきます。課題解決に向けて、関係の出来た地域の関係機関と協力して取り組みを行う中で、徐々に地域の良い変化を感じられたとき、保健師として最もやりがいを感じます。

吉野保健所 感染症係
中村 貴子(2016年入庁)



奈良県保健師の現任教育体制

地域の健康課題や住民ニーズに的確に対応し、効果的な保健活動の実践により質の高い保健サービスが提供できる人材の育成をめざしています。

地域の健康課題や住民ニーズに的確に対応し、効果的な保健活動の実践により質の高い保健サービスが提供できる人材の育成をめざしています。

奈良県では、
充実した現任教育体制
づくりをすすめています！

新任期(1~2年):A1レベル

職員研修

- 新規採用職員研修 (14日間)
- 新規採用職員指導担当者配置制度
- 新規採用職員フォローアップ研修 (2年目 4日間)

保健師専門研修

- 県新任保健師研修
- 保健所別新任保健師研修
- プリセプター配置制度
- その他

業務研修等

- 業務別専門研修
 - ・所内・県内・県外開催
- 公衆衛生学会等
- 多様な自己啓発支援
 - ・各種研修の情報提供